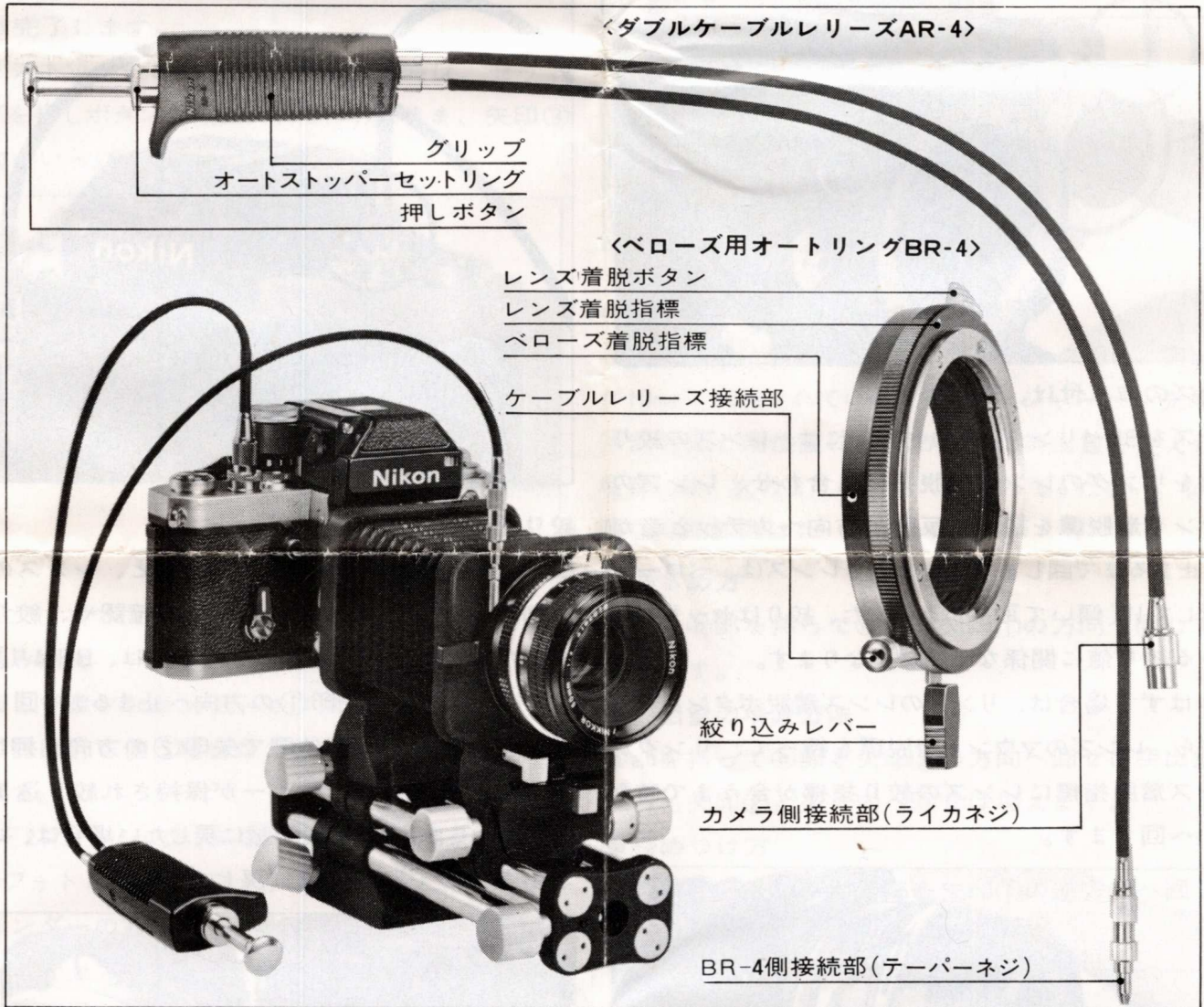


# Nikon

## ダブルケーブルリリースAR-4/ベローズ用オートリングBR-4



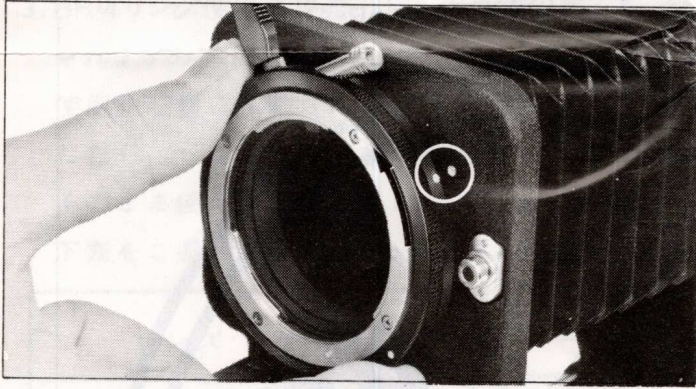
ダブルケーブルリリースAR-4、およびベローズ用オートリングBR-4は、ベローズアタッチメントPB-4、PB-5による接写の際に組み合わせて使用します。BR-4リングをベローズアタッチメントとレンズの中間に取り付け、さらにAR-4をカメラのシャッターボタンとBR-4リングにそれぞれ接続してください。

い。レンズの自動絞り機構が働き、レンズの絞り込みとシャッターリリースが連動します。AR-4にはオートストッパーが設けてあり、長時間露出が片手で操作できます。また、BR-4の絞り込みレバーで、レンズの絞りの開閉も簡単に操作できます。

## オートリングBR-4の取り付け、取りはずし

BR-4リングをベローズに取り付けるには、リングのベローズ着脱指標をベローズのレンズ着脱指標に合わせ、リングのローレット部を持って反時計方向へカチッと音がして止まるまで回します。

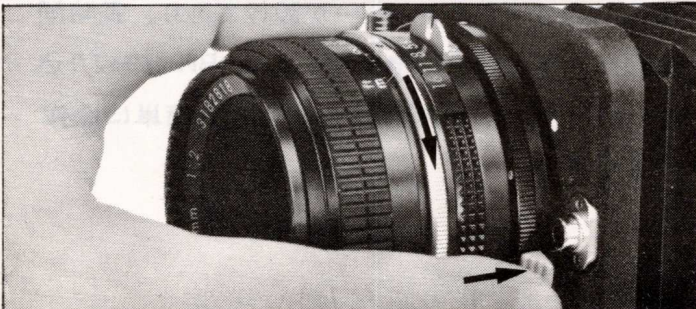
取りはずす場合は、ベローズのレンズ着脱ボタンを押しながら、リングのローレット部を持って、ベローズのレンズ着脱指標にリングのベローズ着脱指標が合うまで時計方向へ回します。



## レンズの取り付け、取りはずし

レンズをBR-4リングに取り付けるには、レンズの絞り指標をリングのレンズ着脱指標に合わせ、レンズのマウント着脱環を持って反時計方向へカチッと音がして止まるまで回します。このときレンズは、ベローズに対して15°傾いて取り付け、また、絞りはセットされている絞り値に関係なく開放になります。

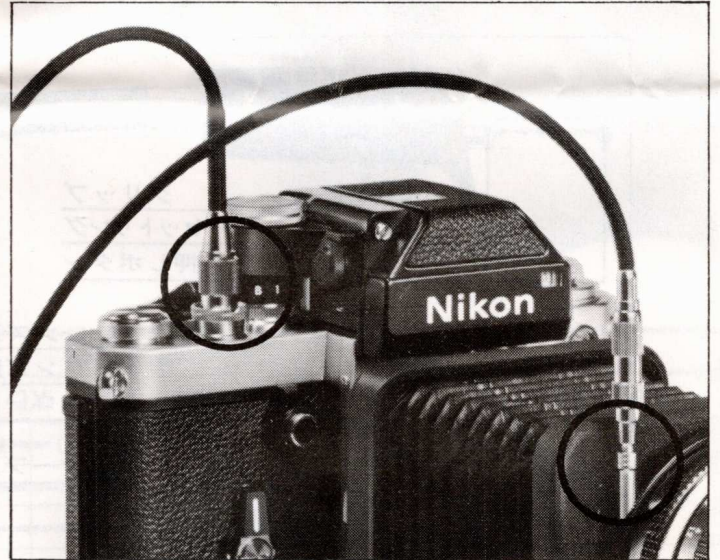
取りはずす場合は、リングのレンズ着脱ボタンを押しながら、レンズのマウント着脱環を持って、リングのレンズ着脱指標にレンズの絞り指標が合うまで時計方向へ回します。



## ダブルケーブルリリースAR-4の接続

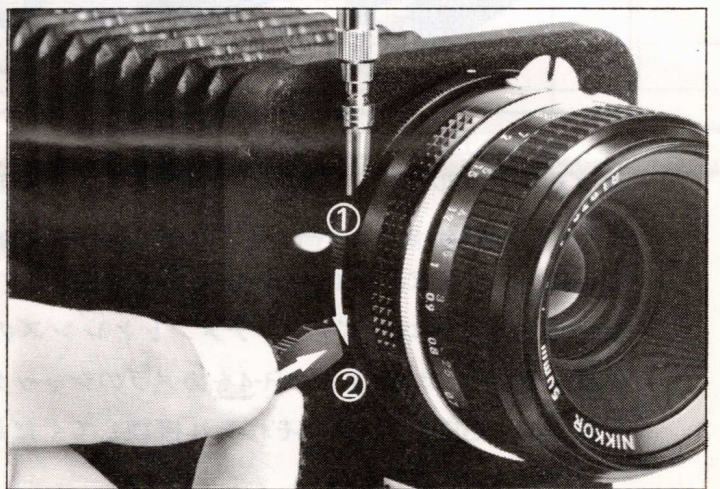
二本のケーブルのうち、長い方(テーパーネジ側)をBR-4リングのケーブルリリース接続部へ、短い方(ライカネジ側)をカメラのシャッターボタンへそれぞれねじ込んで接続します。

その際、オートストッパーが解除されている(セットリングが根元までねじ込まれた状態)ことを確認してください。



## 絞り込みレバーの操作

BR-4リングにレンズを取り付けますと、レンズの絞りは開放となります。被写界深度の確認や、絞り込み測光などでレンズを絞り込む場合には、BR-4リングの絞り込みレバーを矢印①の方向へ止まるまで回します。なお、レバーをその位置で矢印②の方向へ押し込みますと、その位置にレバーが保持され絞り込まれたままになります。絞りを開放に戻したい場合は、レバーを引き抜いて元の位置に戻します。

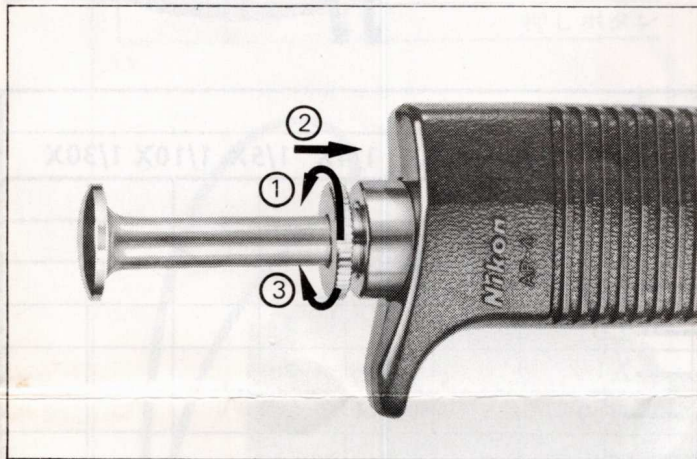


## 長時間露出

AR-4のオートストッパーにより、長時間露出が片手で操作できます。

まず、シャッタースピードダイヤルを“B”にセットし、AR-4のオートストッパーセットリングを矢印①の方向に回しておきます。次に押しボタンをいっぱいまで押しますと、押しボタンはロックされます。任意の時間経過後にセットリングを矢印②の方向へ押しますと、ロックが解除され押しボタンは元に戻り、長時間露出は完了します。

オートストッパーのセットを解除する時は、セットリングを押しボタンの根元へ押しつけたまま、矢印③の方向へいっぱいまで回します。



## 絞り込み測光

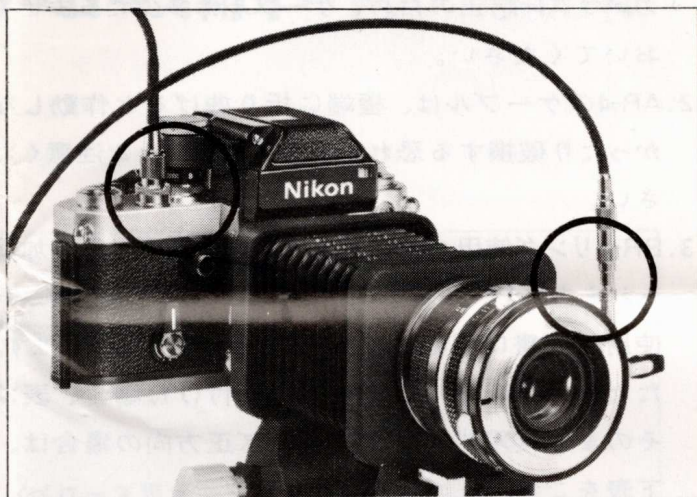
フォトミックファインダーやニコマーտなど、TTL測光の露出計を使う場合は、絞り込み測光で露出を決めます。

ニコンF2フォトミック、ニコンF2フォトミックSおよびニコンフォトミックFT<sub>N</sub>ファインダーでは、あらかじめファインダーの露出計連動ピンを中央位置で指先や硬貨などで上方へ押し上げておきます。この時、開放Fナンバー表示窓にはF5.6が表示されます。ニコマーտFT<sub>N</sub>、ニコマーտFT2およびニコマーտELでは、連動ピンを右に止まるまで回しておきます。測光の際は、絞り込みレバーを使ってレンズを絞り込みます。その他は、開放測光と同様に測光します。

なお、ニコンFフォトミック、ニコンFフォトミックT、ニコンFフォトミックT<sub>N</sub>、およびニコマーտFTについては、それぞれの説明書をご参照ください。

## レンズ逆向きの場合

BR-2リングを用いて、レンズを逆向きに取り付けて使用することもできます。その際、BR-4リングはレンズのバヨネット側に取り付けます。



## AR-4のプランジャーピンの調整

AR-4のプランジャーピンは、BR-4リング用に、突出量が10mmに調整されています(プランジャーピン先端がa部端面と同位置にある)が、特に突出量を変えたい場合には、次のような方法で行なってください。なお、調整可能範囲は7~13mmです。

### ●ゆるめ方

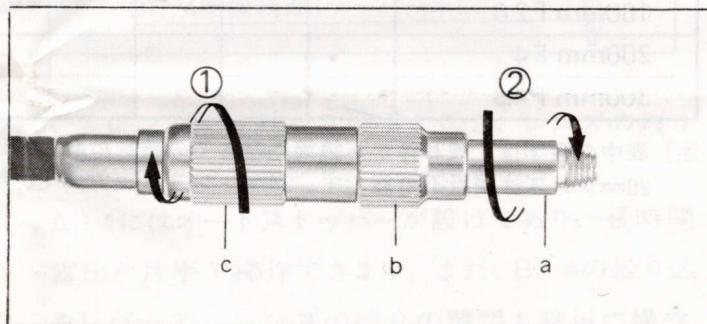
a部とb部を持ってc部を矢印①の方向へ回してゆるめます。

### ●突出量の増減方法

b部を持ってa部を矢印②の方向へ回せば突出量は減り、矢印②と逆方向へ回せば増えます。

### ●締めつけ方

a部とb部を持ってc部を矢印①の逆方向へ回して締めつけます。



### 取り扱い上のご注意

1. 撮影の際、AR-4のグリップをしっかりと握り、親指で押しボタンをゆっくり確実に押してください。また、カメラブレ防止のため、ケーブルは多少たるませておいてください。
2. AR-4のケーブルは、極端に折り曲げると作動しなかったり破損する恐れがありますので、ご注意ください。
3. BR-4リング使用の場合、レンズの繰出量が9mm加算されますので、撮影倍率は、ペローズアタッチメント使用説明書に掲載されている表とは若干異なります。ただし、レンズを逆向きに取り付けた場合、表はそのまま使用できます。レンズ正方向の場合は、下表をご参照ください。



レンズ	撮影倍率											
	6X	5X	4X	3X	2X	1X	1/2X	1/3X	1/4X	1/5X	1/10X	1/30X
28mm レンズ					0	0.2						
35mm F1.4				0		1.3						
35mm F2			0			1.7						
35mm F2.8	0.2					2.0						
35mm PC	0.3					2.1						
45mm GN			3.8			6.9						
50mm F1.4			0.9			4.7						
50mm F2			2.5			6.2						
55mm F1.2			1.2			5.4						
55mm マイクロ			1.7			6.0						
85mm F1.8				9		19						
105mm F2.5/マイクロ					12		28					
105mm ペローズ					15							374
135mm F2					23		49					
135mm F2.8/F3.5					22		47					
180mm F2.8					32		78					
200mm F4					55		111					
300mm F4.5						99						227

注) 表中の数字は、被写体から鏡筒先端までの撮影距離。(単位: cm)

20mmレンズは使用不可能です。24mmレンズは正方向での使用はできませんが、逆方向での使用は可能です。